

救援物資の詰め込み作業

この4日間、セブ市のフィリピン福音自由教会国内本部で救援物資の詰め込み作業が行われた。各袋には約300ペソ(約460円)分の米、缶詰、干物の魚、砂糖、栄養ドリンク、薬用石鹸が入っている。フィリピン福音自由教会のセブ市の教会員たちがボランティアで働いた。

救援物資の配分

これまで、7つの市や町に非常に多くの物資を届けることができた。レイテ島のタクロバン、パロンボン、バイバイ、セブ島のボゴ、メデリン、セブ島の北の島のサンタフェ、そしてイロイロ村である。この配給は、セブの福音自由教会の牧師や会員たちが率先して始めたもので、彼らの両親、兄妹、その他の地域の親類、そして近隣の人々へとなされた。一部は、私たちの友人や親類である福音自由教会以外の教会の牧師たちを通して配分された。

他の地域のための詰め込み作業

他の地域のためにも多くの要請があり、救援物資の詰め込み作業を続けている。今週末には、私たちのバイブルカレッジの教師や学生たちによってセブ州の北端にある辺鄙な小さな島の漁村にも、物資が届けられることになっている。この地域に行くにはモーターボートを借りなければならない。他の救援物資は、レイテ島のセントバーナード、タナワン、オルモック、ボホール州、キュリオン・パラワン、そして東サマール州にも送られる。

東サマールと連絡が取れず

東サマール州の福音自由教会の群れを助けたいと願っているが、未だにサム・アベリア牧師と連絡が取れていない。しかし、この牧師と家族が無事であるという知らせが入った。

月曜日には、私たちはタクロバン市に飛び、その後、東サマールに行く計画をしているが、サム牧師にタクロバン市で会えることを願っている。東サマール地域に安全に出入りできるため、彼のアドバイスが必要である。共産主義の武装集団や脱走した囚人による犯罪が報告されている。

リーチグローバルの協力

昨日、3人のリーチグローバルの方が、セブ市に到着し救援と復興のための対策について話し合った。今日、彼らは早朝2時には出発し、セブ北部の地域に物資を届けた。ボゴ、メデリン、サンタフェの町々で、2人の福音自由教会の牧師と2人の教会員が同行した。2台の車で行き、1台には救援物資と1000個のパンが積みこまれ、行く途中人々に手渡された。

月曜日には、タクロバン市を經由して(事前にサム牧師と連絡が取れることを願いつつ)サマール州と一緒にいく計画をしている。

さらなる支援と協力

明日11月16日、JIFHの3人がセブ市に来る予定。マニラのドイツ福音自由教会宣教部からも1人、私たちの救援活動に加わってくれることになった。この報告を書いている今、日本にいるEFCEMの宣教師を通してカナダ福音自由教会から浄水器が届けられた。こうして私たちの周りの困窮している人々のために、1つの家族として共に仕える働きができるということは、なんとという祝福でしょうか。